

キケン注意

入山する方への注意事項です

毎年、山菜・キノコ採り、登山、溪流釣りや林業作業中のツキノワグマによる被害が見受けられます。

特に山菜・キノコ採りや溪流釣りの場合、採ることに集中してしまうため、ツキノワグマがいる気配に気づかず、突然出会う危険性が高くなります。県内の山は殆どがクマの生息域です。クマがいるのは当然と思って山に入ってください。特に、悪天候の日や沢音が大きい場所などでは、クマも人の気配に気づかないこともありますので、注意が必要です。

クマがいっぱい



岩手の山には沢山のクマが生息しています。入山の際には、出没情報を市町村役場、地元警察署や現地看板で確認し、一人では入山しないようにしましょう。

クマは臆病者！



クマはとても臆病です。突然出会うと、クマも驚いて襲ってることがあります。鈴、笛、ラジオなどで、人間の存在を知らせましょう。クマが活動する朝夕には入山を控えましょう。

子持ちは危険



子グマには決して近づいてはいけません。必ず近くに親グマがいて、とても危険です。

見たらすぐ逃げろ



新しい足跡やフンを見つけたときには、すぐに引き返しましょう。

岩手県

環境生活部自然保護課 電話019-629-5371 (ダイヤルイン)

キケン注意

農作業中は特に注意してください



毎年、農作業中のツキノワグマによる被害が見受けられます。

農作業は外での作業のため、ツキノワグマと出会う機会が多くなります。**農作業中にはラジオを携帯し**、人間がいることをクマに知らせることにより、クマと出会う機会を少なくできます。また、山や住宅周辺に**クマのエサ**になるものを**捨てない**よう注意してください。



「なぜこんなところに？」と思われるような場所で出会うことがあるかもしれません。イヌが警戒している等、いつもと様子が異なる時は十分に気をつけましょう。



生ゴミや廃棄農作物は、クマにとってとても魅力的な食べ物です。地中深くに埋める等、適切に処理しましょう。



クマはからだを隠しながら移動します。やぶや茂みを減らすことは一つのクマ対策です。



あなたの畑にクマがひそんでいるかもしれません。作業前には十分に確認しましょう。